

経営比較分析表

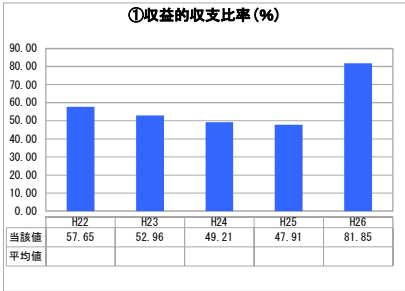
広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	29.16	95.14	2,937

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
55,302	778.14	71.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
16,009	4.46	3,589.46

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



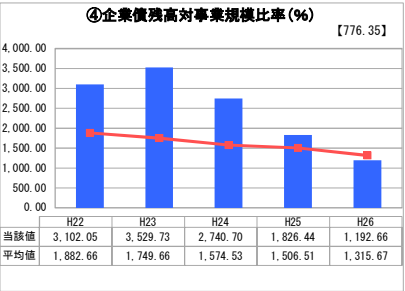
「単年度の収支」



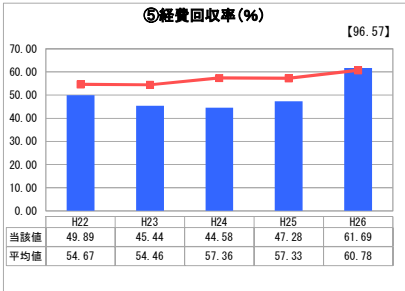
「累積欠損」



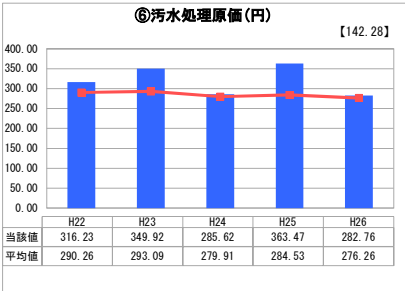
「支払能力」



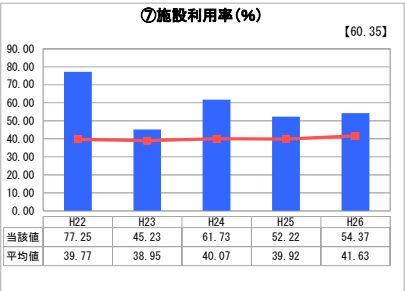
「債務残高」



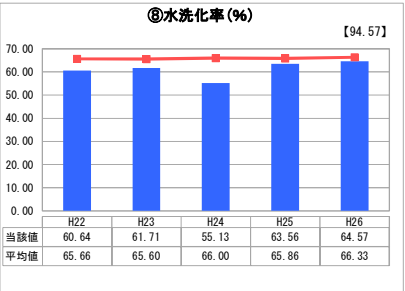
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

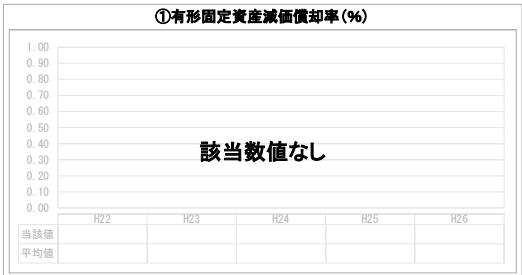


「施設の効率性」

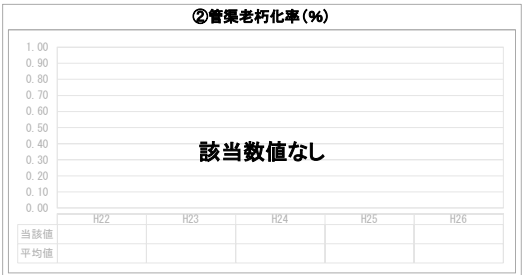


「使用料対象の捕捉」

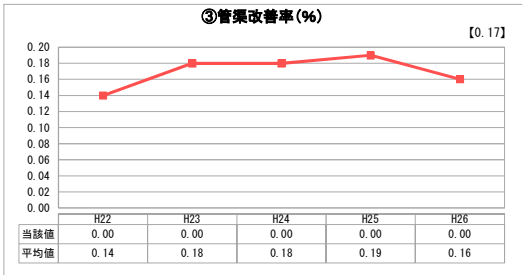
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

●収益の収支比率、企業債残高対事業規模比率
平成26年度は、『収益の収支比率』が82%程度であり、『企業債残高対事業規模比率』は、平均値とほぼ同様に改善している。主な要因としては、繰出基準の見直しや繰上償還等によるもので、引き続き経営の健全性に努める。

●経費回収率、汚水処理原価
中山間に位置する本市は過疎地域であるため、地理的要因により、工事費や維持管理費が割高であるが、平均値とほぼ同様に改善した。今後も、経常的経費の節減と適正な経費回収に努める。

●施設利用率、水洗化率
下水道工事を始めた時期が他市に比べて遅く、現在も拡張工事を行っているため、施設利用率や水洗化率に年度間格差がある。主な要因として、接続人口は毎年増加しているが、拡張工事により処理区域内人口も増加しているためである。今後も、充当可能財源を確保し、計画的な拡張事業や更新事業を図りながら、水洗化率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

平成3年から下水道工事に着手し、平成12年から供用開始しているため、管渠の老朽管更新を行う時期ではないが、計画的な更新に努める。

全体総括

面整備率が未だ6割と低いため、現状では施設利用率や水洗化率が適切な水準に達していない状況にある。そのため、経費回収率が低く、汚水処理原価が高い傾向にある。
今後は、公営企業会計化へ向けて資産を整理し、施設効率の改善や料金体系の見直しを行いながら、計画的な事業展開に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。